

平成28年度 施策評価シート

基本目標	区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	530 平和を希求し、人権を尊重するまちをつくる
施策	533 国際理解を進め、平和意識を高める
施策の目標	すべての区民が世界平和の大切さを理解し、国際交流の重要性を認識するとともに、さまざまな国の各都市との友好交流に取り組んでいます。

1 基本計画における成果指標

指標名	単位	目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
「地域で戦争体験を語り継ぐことが重要だ」と思う区民の割合	%	95.0	-	-	-	-	87.1
民間団体および行政による海外との相互交流数	件	15.0	-	-	-	-	-

2 1の「成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
海外友好都市等の行政交流回数	回	3	5	3	4	3
平和メッセージ応募者数	枚	924	1,249	1,303	1,682	1,630

3 目標と現状(実績)についての分析

指標の推移・施策の課題や問題点について記述
<p>・海外友好都市(北京市石景山区・ソウル特別市西大門区)との交流は、政治情勢による影響が大きく、近年の交流実績は減少傾向にある。パリ市7区との交流は短期間ではあるが堅調である。</p> <p>・平和メッセージ事業は、区民が広く参加できる事業であり、特に「平和のオブジェ」・「平和メッセージ」については、新聞その他のメディアに必ず取り上げられるなど、区内外からの評価が高い。</p>

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性(選択肢に を付ける)
(1) 優先的に資源投入を図る。
(2) 現状維持とする。
(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】
<p>・海外友好都市との交流は、協定に基づき継続していく。しかし、政治や社会情勢の影響を受ける中でも、区民が身近に友好都市を感じられるような事業が実施できるよう工夫・改善を図っていくことが必要である。</p> <p>・平和メッセージ事業については、引き続き、区内外から高い評価がなされるような内容で実施していく。</p>
【今後の具体的な方針】
<p>・海外友好都市(北京市石景山区・ソウル特別市西大門区)との交流については、政治情勢等を見極めながら今後も継続する。また、パリ市7区との交流についても、引き続き、推進していく。</p> <p>・平和メッセージ事業は、企画内容のさらなる工夫・改善に努め、区内外へ力強く発信していく。</p>

事務事業名	海外諸都市との交流推進事業		所管課・係	文化振興課 文化・国際担当
施策	533	国際理解を進め、平和意識を高める	連絡先	5608-6212
予算書名称	海外諸都市との交流推進経費		執行実績報告書ページ	59

1 事業の概要

平成9年12月に友好協定を締結した中華人民共和国北京市石景山区及び平成15年10月に締結した大韓民国ソウル特別市西大門区との友好交流を推進する。 また、パリ市7区をはじめ他の海外諸都市との交流や視察受入等も行うが、一方で、区民を主体とした交流活動を支援し、区民の国際理解を深め、地域の活性化を促す。	事業開始年度	平成9年度
	終了予定年度	未定

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか		中華人民共和国北京市石景山区、大韓民国ソウル特別市西大門区、フランス共和国パリ市7区等の海外諸都市及び区民	に対して			
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)		行政間交流や民間交流への支援等	を実施したことで			
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか		区民の国際理解を高め、地域の在住外国人に対しても相互理解を深める	状態にする。			
目的を達成するための指標						
種類	指標名(指標の説明)	単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	海外友好都市等の行政交流回数	回数	目標値	3	3	3
			実績値	3	4	3
成果指標 (目的に対する指標)	民間同士の交流回数	回数	目標値	2	3	3
			実績値	1	1	1
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)						
平成27年度は、韓国で流行した感染症MERS及びパリ同時多発テロといった外的要因による交流事業の中止・変更を余儀なくされた。 一方で、西大門区副区庁長を代表とする視察団を受け入れた。						

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	区民生活費	項	文化振興費	目	国際交流等推進費	
27年度 歳出予算額	1,092	27年度 歳出決算額	476	27年度 執行率	43.6%	28年度 歳出 予算額	1,470
27財源内訳 (決算額)	国庫支出金 無	都支出金 無	その他 無	一般財源 有			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額	
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの							
27年度 実績額		28年度 予算額		対象			
開始 年度		根拠法令					
算定基準				補助率			

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	どちらかといえば必要	前年度評価	どちらかといえば必要
<p>友好協定に根拠を置く事業であるため。</p>				
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	どちらかといえば有効
<p>政治や社会情勢の影響を受けやすいことから、時代に即した、より有効な手段の検討も必要である。</p>				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
<p>民間交流団体と適切な経費負担で実施しており、効率的な事業運営を行っている。</p>				
(4)現状と課題	<p>基本計画の理念を推進するためには、より区民が身近に海外諸都市との交流の意義を感じられる事業を行う必要がある。</p>			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	現状維持	判定理由	海外諸都市との交流については、区民交流を伸展させていくために、区の関わり方や支援方法等を検討する必要がある。
今後の方向性 (見直しの視点)	<p>友好協定を締結している「北京市石景山区」及び「ソウル特別市西大門区」との交流については、政治情勢を注視しながら、「石景山区」は行政主体で、「西大門区」は民間主体で継続していく。 「パリ市7区」との交流については、平成24年度の「相互紹介展」の開始以来、堅調に推移していることから、継続していく。</p>		
平成27年度区議会の質問状況	時期	平成27年 第4回定例会	
	要旨	パリ市7区との友好都市協定の締結時期について競艇	

事務事業名	自主企画イベント(平和メッセージ)事業		所管課・係	文化振興課 文化行事担当
施策	533	国際理解を進め、平和意識を高める	連絡先	5608-6181
予算書名称	事業費		執行実績報告書ページ	60

1 事業の概要

「墨田平和福祉都市づくり宣言」(平成元年1月11日 告示3号)の趣旨を実現するため、平成3年度から平和メッセージ事業を実施している。	事業開始年度	平成3年度
	終了予定年度	未定

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか						
区民	に対して					
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)						
平和への思いを綴ったメッセージの募集・展示、 願いを込めた折り鶴での平和のオブジェを制作、 平和祈念コンサート	を実施したことで					
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか						
「墨田区平和福祉都市づくり宣言」の趣旨を実現するため、墨田区から平和への思いを区内外に強く発信している	状態にする。					
目的を達成するための指標						
種類	指標名(指標の説明)	単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	平和メッセージ応募者数	枚	目標値	1,000	1,300	1,500
			実績値	1,303	1,682	1,630
成果指標 (目的に対する指標)	メディアに取り上げられた件数	件	目標値		5	10
			実績値	5	9	6
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)						
本事業は区内外からも注目され、「平和メッセージ」は目標値を超える応募がある。また、各メディアにも毎年取り上げられており、事業の趣旨は確実に浸透してきているものと思われる。平成26年度は、東京大空襲70年のため、メディアのからの注目が集まった。						

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	区民生活費	項	文化振興費	目	リバーサイドホール費
27年度 歳出予算額	1,974	27年度 歳出決算額	1,906	27年度 執行率	96.6%	28年度 歳出 予算額
27財源内訳 (決算額)	国庫支出金 無	都支出金 無	その他 無	一般財源 有		
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの						
27年度 実績額		28年度 予算額		対象		
開始 年度		根拠法令				
算定基準				補助率		

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価	高い
<p>「墨田区平和福祉都市づくり宣言」の実現に向け、区として事業を実施する強い理由があるため。</p>				
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	上昇
<p>例年、指標である平和メッセージは目標値を超える応募数があり、各メディアにも取り上げられているため。</p>				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
<p>消費税等により、経費は微増であるが、常に経費節減に努めながら例年同等の内容で実施している。</p>				
(4)現状と課題	<p>「平和のオブジェ」については、内外からの評価も高く、今後も継続していく必要があると考えるが、更なる充実を図るため、内容に変化を持たせていく必要がある。</p>			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	現状維持	判定理由	<p>本事業は毎年新聞紙上でも大きく紹介されるなど、本区の平和福祉都市づくり実現に向けて大きな役割を担っている。また、折り鶴やオブジェの制作・平和メッセージには多くの区民が積極的に参画していることから、この思いを区内外に継続して発信していく必要がある。</p>
今後の方向性 (見直しの視点)	<p>引き続き企画・内容に工夫を凝らし、事業のマンネリ化を防ぐため、変化を持たせながら本事業の魅力をもっと高め、実施していく。</p>		
平成27年度区議会の質問状況	時期	無	
	要旨	無	